

平成16年3月期中間期決算説明資料

2003年11月6日  
ダイセル化学工業株式会社

(金額表示は単位を億円とし、端数は四捨五入しております)

1. セグメント別売上高・営業利益増減比較(対前年同期実績)

	2002年度 上期実績	2003年度 上期実績	増減	増減率	備考
売上高	1,327	1,364	+ 37	+ 2.8%	
セルロース	244	232	△ 12	△ 4.9%	LCD用向け好調TAC+5、繊維及びFT向けYAC△5 FT国内需要減△5、輸出円高による単価ダウン△6
有機合成	351	364	+ 13	+ 3.8%	酢酸+7、酢酸誘導品及び機能品+6、南寧新規連結+3、医薬中間体△2
合成樹脂	568	583	+ 15	+ 2.6%	ポリプラGr+19、大プラGr△5
火工品	132	152	+ 20	+ 15.1%	エアバック用インフレータ販売数量増 452万個→600万個 +25 特機 △5
その他	32	32	+ 0	+ 1.0%	メンブレン+1
営業利益	93	91	△ 2	△ 2.2%	
セルロース	57	53	△ 5	△ 7.9%	FT円高による単価ダウン、酢酸価格上昇
有機合成	32	21	△ 11	△ 34.5%	原料価格の高騰
合成樹脂	26	32	+ 6	+ 22.7%	ポリプラGr+11、大プラGr△3
火工品	20	27	+ 7	+ 35.9%	エアバック用インフレータ +9 特機 △2
その他	0	0	+ 0	+ 350.0%	
全社	△ 42	△ 42	+ 0	+ 0.9%	
経常利益	48	61	+ 13	+ 27.9%	営業外損益 +15(為替差損益 △19→△5)
当期純利益	15	11	△ 4	△ 27.1%	当期に訴訟関連費用21億(16.6百万ユーロ)を特別損失に計上

(為替の実績)(126円)(119円)

2. 通期業績予想(対2002年度実績)

	2002年度実績			2003年度予想			年間増減	備考	
	上期実績	下期実績	合計	上期実績	3Q予想	下期予想			合計
売上高	1,327	1,386	2,713	1,364	720	1,436	2,800	+ 87	
セルロース	244	247	491	232	128	250	482	△ 9	LCD用TAC・FT輸出好調だが為替の影響及びYAC低迷により減収
有機合成	351	371	722	364	185	386	750	+ 28	酢酸及び酢酸誘導品+17、南寧新規連結+7、機能品+7、医薬中間体△3
合成樹脂	568	581	1,149	583	310	593	1,176	+ 27	ポリプラGr好調+30、大プラGr△7、上海ダイセル+4
火工品	132	152	284	152	80	170	322	+ 38	インフレータ 1010万個→1300万個 +43 特機△5
その他	32	36	68	32	17	38	70	+ 3	メンブレン+3
営業利益	93	111	204	91	60	114	205	+ 1	
セルロース	57	60	118	53	30	58	111	△ 7	FT円高による単価ダウン
有機合成	32	35	67	21	10	29	50	△ 17	原料価格アップによる収益悪化
合成樹脂	26	34	61	32	27	39	71	+ 10	ポリプラGr+15、ダイプラGr△3
火工品	20	23	43	27	14	30	57	+ 14	インフレータ+13
その他	0	1	1	0	1	2	2	+ 1	
全社	△ 42	△ 43	△ 85	△ 42	△ 22	△ 44	△ 86	△ 1	
経常利益	48	98	146	61	50	89	150	+ 4	営業外損益+3
当期純利益	15	6	20	11	21	34	45	+ 25	

(為替の実績及び想定)(126円)(121円)(124円)(119円)(110円)(110円)(114円)

### 3. 単体の部門別売上高実績(対前年同期実績)

	2002年度 上期実績	2003年度 上期実績	増減額	増減率	備考
売上高 総合計	768	791	+ 24	+ 3.1%	
セルロース	237	233	4	1.6%	
セルロース	96	96	+ 0	+ 0.2%	L C D用T A C好調、繊維及びF T向けY A C数量減
フィルター	123	119	4	3.3%	国内需要減、輸出好調も為替の影響で微増にとどまり減収
W S P	19	19	0	0.6%	
有機合成	373	396	+ 23	+ 6.2%	
有機合成品	273	299	+ 26	+ 9.5%	メタノール価格上昇、酢酸誘導品販売数量増
有機機能製品	75	77	+ 2	+ 2.8%	販売数量増
C P I	25	20	5	19.6%	医薬中間体向け販売減
合成樹脂	17	17	1	3.2%	
フィルム	17	17	1	3.2%	需要減
火工品	135	141	+ 6	+ 4.4%	
エアバッグ用インフレーター	98	109	+ 11	+ 10.8%	販売数量増、D S S A向け販売増
特機	37	32	5	12.6%	防衛庁調達減
その他	5	4	1	22.3%	
その他	5	4	1	22.3%	パイプ販売減

(為替の実績) (123円) (118円)

### 4. 単体の部門別年間売上高予想

	2002年度実績			2003年度予想				年間増減額	備考
	上期実績	下期実績	合計	上期実績	3 Q予想	下期予想	合計		
売上高 総合計	768	807	1,574	791	404	839	1,630	+ 56	
セルロース	237	237	474	233	118	237	470	4	
セルロース	96	97	193	96	54	105	201	+ 8	T A C好調、Y A C輸出減
フィルター	123	120	243	119	53	112	231	12	国内販売減、円高
W S P	19	19	38	19	11	19	38	+ 0	
有機合成	373	403	775	396	201	421	817	+ 42	
有機合成品	273	298	572	299	155	312	611	+ 40	数量増
有機機能製品	75	80	155	77	38	85	162	+ 7	数量増
C P I	25	24	49	20	8	23	44	6	医薬中間体向け販売減
合成樹脂	17	17	34	17	9	19	36	+ 2	
フィルム	17	17	34	17	9	19	36	+ 2	新規フィルム上市、需要下げ止まり
火工品	135	148	283	141	75	158	299	+ 16	
エアバッグ用インフレーター	98	110	209	109	57	121	230	+ 22	販売数量増、D S S A向け販売増
特機	37	38	74	32	18	37	69	5	防衛庁調達減
その他	5	3	8	4	1	4	8	+ 0	
その他	5	3	8	4	1	4	8	+ 0	

(為替の実績及び想定) (123円) (121円) (122円) (118円) (110円) (110円) (114円)